

IBD 友の会だより

発行者：IBD 委員会

発行所：松田病院

平成 30 年 5 月 11 日

陽射しが気持ち良く、過ごしやすい季節になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、第 5 回 IBD 患者会を開催いたしましたので、ご報告させていただきます。

開催日時	平成 29 年 12 月 3 日 (日)	10:00~12:00
場所	松田病院 2 階 患者食堂他	
参加人数	18 名 (患者家族 1 名含む)	
内容	講演：松田病院医事課(医療相談担当) 山口 紗知 GW：UC・CD に分れて	

1) 当院医事課 山口より『福祉制度』について

* 難病医療費助成制度 (H27/1/1~変更) :

指定難病の治療に係わる医療費の一部を助成

- ・潰瘍性大腸炎：中等症以上が対象
- ・クローン病：診断基準の内 2 点以上該当すると対象

軽症者特例：

治療により症状では基準を満たさない場合、直近の 1 年間に総額医療費が 33,330 円を超える月が 3 回以上ある場合対象

高額かつ長期：

継続的に高額な治療が必要な場合、直近の 1 年間に総額医療費が 50,000 円を超える月が 6 回以上ある場合対象

* 医療費控除：

1 年間に支払った医療費自己負担額が 10 万円を超えた場合、支払った医療費に対して所得税・住民税の一部が戻る制度

5年前まで遡って申請可能

* 傷病手当金：

休業中に支給。支給額は標準月額報酬の3分の2に相当する金額
支給期間は1年6ヶ月間

* 障害年金：

病気やけがによって生活や仕事が制限されるようになった場合、現役世代も含め受け取れる年金
対象は20歳から65歳
初診日に加入していた制度によって受給できる年金が決まる
障害認定日以降に請求可能

* 身体障害者手帳：

所得税・住民税の控除や交通機関や施設利用の割引が受けられる制度

2) グループワーク～UC・CDに分れて～

【CD】

福祉制度や腸内細菌、食事などについて話し合いが行われた

◎ 福祉制度への質問

- ・障害者手帳はとっておいたほうがよい（駐車場・公共施設料金・交通機関の料金が安くなる）
- ・障害年金は初診日からの情報が必要になるので、数か所から診断書を集めなければいけない可能性がある

◎ 腸内細菌・食事など

- ・腸内フローラによる新しい治療が出てきている
- ・口腔内を清潔に保つとCD・UCがよくなる
- ・コンビニ弁当は避け、できるだけ自炊を
- ・カロリーメイトは食物繊維が少なく脂肪が多いのでお勧めできない
- ・カロリーゼロ飲料は人工甘味料が使用されている場合が多く身体に良くない

【UC】～皆様からの質問に中井医師が回答～

Q:検査値は改善したが、便の回数が減らない

A:天気やメンタルの状態でも変わる

気持ちのコントロールは難しいので薬の組み合わせを考慮した方がよい

Q:身体痛み(背中)が月 1 回くらい出る

強い薬が使えないので何か良い方法は

A:腸以外にも皮膚・眼・関節などに症状が出ることもある

股関節はステロイド使用でリスクが上がるが、背中は少ない

整形外科受診を勧める

痛み止めは長期の連用は避けること

Q:子供が UC 寛解状態ではあるが本人の自覚が乏しい

どうすれば寛解維持が出来るか

A:健康管理は自己責任 親であっても代わってやれない

困ったときに相談しやすい環境を作ること、早めの受診を

3) 反省会にて

・福祉制度についての説明は、

「普段聞く事がない内容だったので良かった」、「知らないと受けられない制度もあり、聞いて良かった」と好評でした

・新規参加者を増やす対策として次のようなご意見を頂きました

・患者会の名称を変更しては？（『会』とつくると重い感じがする）

・患者同士のつながりが少ない。以前は入院中に看護師から声かけの働きかけがあったが

→外来受診時に声かけを心掛けます

・勧誘方法も「入会しますか」ではなく「生活情報・新薬情報をお伝えする場がありますが、いかがですか」などと工夫してみてください

・グループワークでは話さない人もいたので、以前のように身体を動かすことなどを取り入れてみてください

以上の意見が出ました。

【患者様からいただいたメッセージの紹介】

・お便りありがとうございました。

・スイーツの作り方参考になりました。ありがとうございます。

・遠方のため出席できず残念ですが、いつも読ませていただいて参考にしています